大腸内視鏡検査のご案内

当予防医学センターでは、大腸がんの確定診断をする際に
もっとも精度の高い「**大腸内視鏡検査**」を取り入れ、自覚症状がない方にも
早期発見、早期治療につなげていきたいと考えております。
当院では熟達した医師（エキスパート）が検査をおこない、医療へのバックアップも万全です。

罹患数(新たに診断されるがん)の予測(2019)

1位	大腸	155,400
2位	胃	124,100
3位	肺	122,300
4位	乳房(女性)	92,200
5位	前立腺	78,500

罹患数：男性

1位	大腸	89,100
2位	胃	84,200
3位	肺	82,700
4位	前立腺	78,500
5位	肝臓	24,500

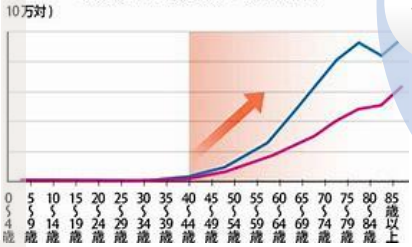
罹患数：女性

1位	乳房	92,200
2位	大腸	66,300
3位	胃	39,900
4位	肺	39,600
5位	子宮	26,800

（国立がん研究センター がん情報サービス 2019年がん統計予測より）

死亡原因は
女性は第１位
男性では第３位

大腸がん年代別罹患率（2000年）



◆このような方におすすめです◆

- 下痢や腹痛がある
- 男女共に**40歳**頃から発症率が増加
- 喫煙過度のアルコール摂取
- 食生活の乱れ
- 家系にがんが多い

人間ドック、健康診断に追加できます（事前にご予約が必要となります）

大腸カメラ（鎮静剤の料金を含む）　**19,800円**（税込）
※オプション検査となります

胃カメラとの同時受診がおすすめです

■人間ドックに追加の場合　**67,100円**（税込）
【44,000円（基本ドック）+3,300円（胃カメラ差額代）+19,800円（大腸カメラ）】

■生活習慣病健診に追加の場合　**45,100円**（税込）
【22,000円（生活習慣病健診）+3,300円（胃カメラ差額代）+19,800円（大腸カメラ）】

（予防医学センターでは74歳以下の方が対象となります。）
※生検をおこなった場合は、当院での保険診療扱いとなります。
※健康診断での内視鏡的ポリープ切除術（ポリペクトミー）は実施いたしません。
後日当院の外来受診をおすすめしております。
※ご契約内容により、胃カメラ差額代は別途かかる場合があります。
予約時にご確認ください。

健康診断で早期発見することができます

～検査で分かること～
- 大腸がんの早期発見
- 大腸ポリープ
- 潰瘍性大腸炎
- クローン病など

大腸がんの約8割が予防できます

大腸ポリープ 内視鏡画像

便潜血検査は、進行がんには高い確率で発見されますがポリープ（腺腫）に対しては感度が低く（10%～50%）便潜血が陰性でも内視鏡でポリープや早期がんが発見されることが多くあります。

※健康診断でのポリープ切除はおこなっておりません。

最新機器を使用し、苦痛のない優しい内視鏡検査

当院では「軸保持短縮法」による鎮静剤を使った大腸内視鏡検査を行っております。
大腸内視鏡（大腸カメラ）を挿入する際、炭酸ガス（二酸化炭素）送気システムを使用することで検査中や検査後のお腹の張りを軽減することができます。
大腸スコープは柔らかいタイプのものを使用しており、画像を構成する装置には高画質での観察が可能なオリンパス社製の機器（EVIS　LUCERA　ELITE）を採用しております。
NBI（Narrow Band Imaging：狭帯域光観察）という特殊な光による観察も可能となっており
ポリープの性状観察などに威力を発揮しています。また、体に害のない色素を散布することにより
さらに正確な診断が可能です。検査時間は個人差もありますが、15分～30分程度となります。
鎮静剤の効果がある程度とれるまでは、30分から１時間程度ベットでお休みいただきます。

柏たなか病院　予防医学センター　お問合せ：直通　04-7131-2211